



山形カシオ株式会社 環境サイトレポート 2016

～地球に優しく地域に根付くエコファクトリー～



山形カシオ環境方針

改訂日 2014年7月29日
制定日 1997年8月7日

基本理念

山形カシオ株式会社は、カシオグループとして「カシオ環境ビジョン2050」、「カシオ環境宣言2020」を尊重し、地球環境保全が人類共通かつ、事業活動の最重要課題の一つであることを認識し、環境に配慮した事業活動を積極的に推進します。

基本方針

1. 山形カシオが行う事業活動が環境に与える影響を把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的・目標を定めて、その実現を図ると共に、環境管理システムの継続的な改善を推進します。
2. 環境関連の法律、条例、協定及びカシオグループの一員として『カシオ環境宣言2020』を尊重すると共に、更に自主基準を設定して、汚染の予防を図ります。
3. 事業活動を通じ、省エネルギー、省資源を図ります。
4. 事業活動による廃棄物の削減、リユース化、リサイクル化を推進し環境の保全を図ります。
5. 生物多様性の保全を図ります。
6. 環境教育や社内広報活動を通して、当社内で働く全ての人に環境方針の徹底を図ります。
7. 環境方針は、要求に応じて公開します。

山形カシオ株式会社 環境サイトレポート 2016



ごあいさつ

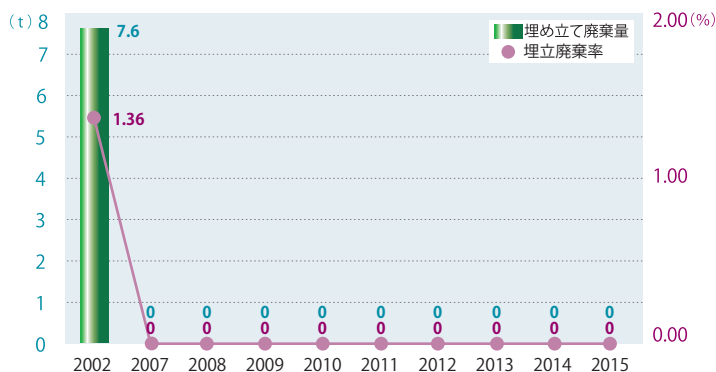
山形カシオ株式会社は、ISO14001の認証を取得して以来、産業廃棄物リサイクルの促進（ゼロエミッションの達成）、CO₂の排出量の削減など環境保全への取組を強化してきました。また、省エネルギー実現のため、計画的に設備投資を行ってきた「電力監視システム」を有効に活用し、従業員全員が一丸となって、夏場／冬場の節電に努めてまいりました。今後も、地球環境保全を第一に考え、事業活動と環境保全の両立を目指し、技術的な課題に積極的に取り組むとともに、職場のみならず家庭においても、従業員一人ひとりが、環境保全活動に取り組み、社会の持続的成長の実現に貢献していきます。

代表取締役社長 佐藤 清志

主要環境目標・結果(2015年度)

項目		目標	実績
産業廃棄物の削減 ●ゼロエミッションの継続 「産業廃棄物発生量の削減」	廃棄物埋立率	0.05%	0%
	省エネルギー(2012年度原油換算使用量2779kℓをBMIに毎年1%を削減した使用量)	原油換算使用量	2696 kℓ
汚染の予防 (鉛フリー半田使用率=鉛フリー半田使用量(kg)/総半田使用量(kg))	鉛フリー半田使用率	100%	100%
省資源 成形材料再生率向上(リベレット化)	再生材量	24000kg	27732 kg
法の順守	環境汚染につながる事故発生	0 件 法規制値及び自主基準値のクリアー	0 件 法規制値及び自主基準値のクリアー

ゼロエミッションの継続：埋立廃棄量と埋立廃棄率の推移

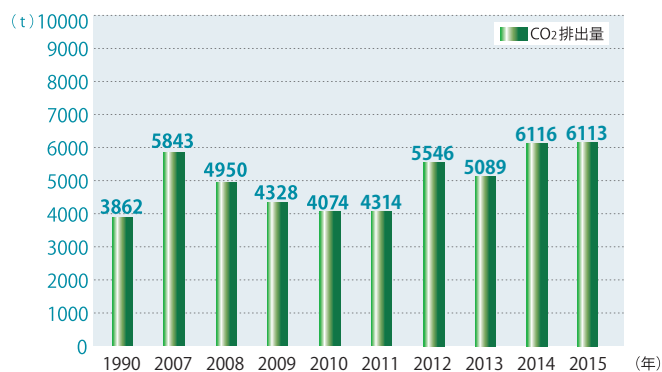


2015年度も、ゼロエミッションを継続できております。

カシオグループのゼロエミッション定義

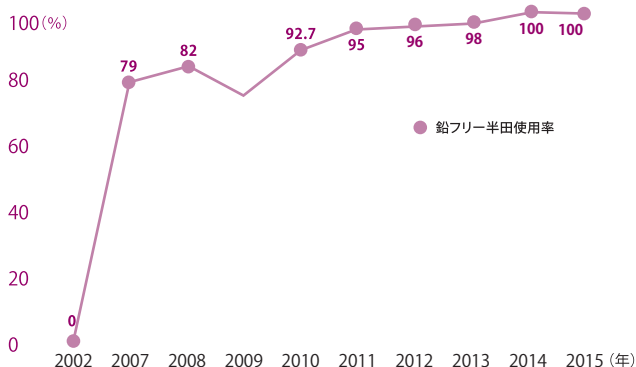
埋立廃棄率 = (埋立廃棄量 / 産業廃棄物発生量) × 100 が 1%以下であること。

省エネルギー：CO₂排出量の推移



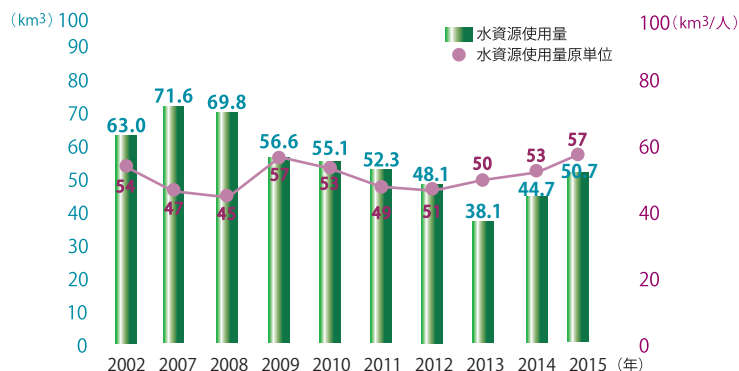
2015年度は、増産により生産高はUPしましたが、CO₂排出量は横ばいとなっております。

汚染の予防：鉛フリー半田使用率の推移



2015年度も鉛フリー半田使用量は100%となり、カシオブランド商品、及びEMS商品共に「半田の鉛フリー」を継続しております。

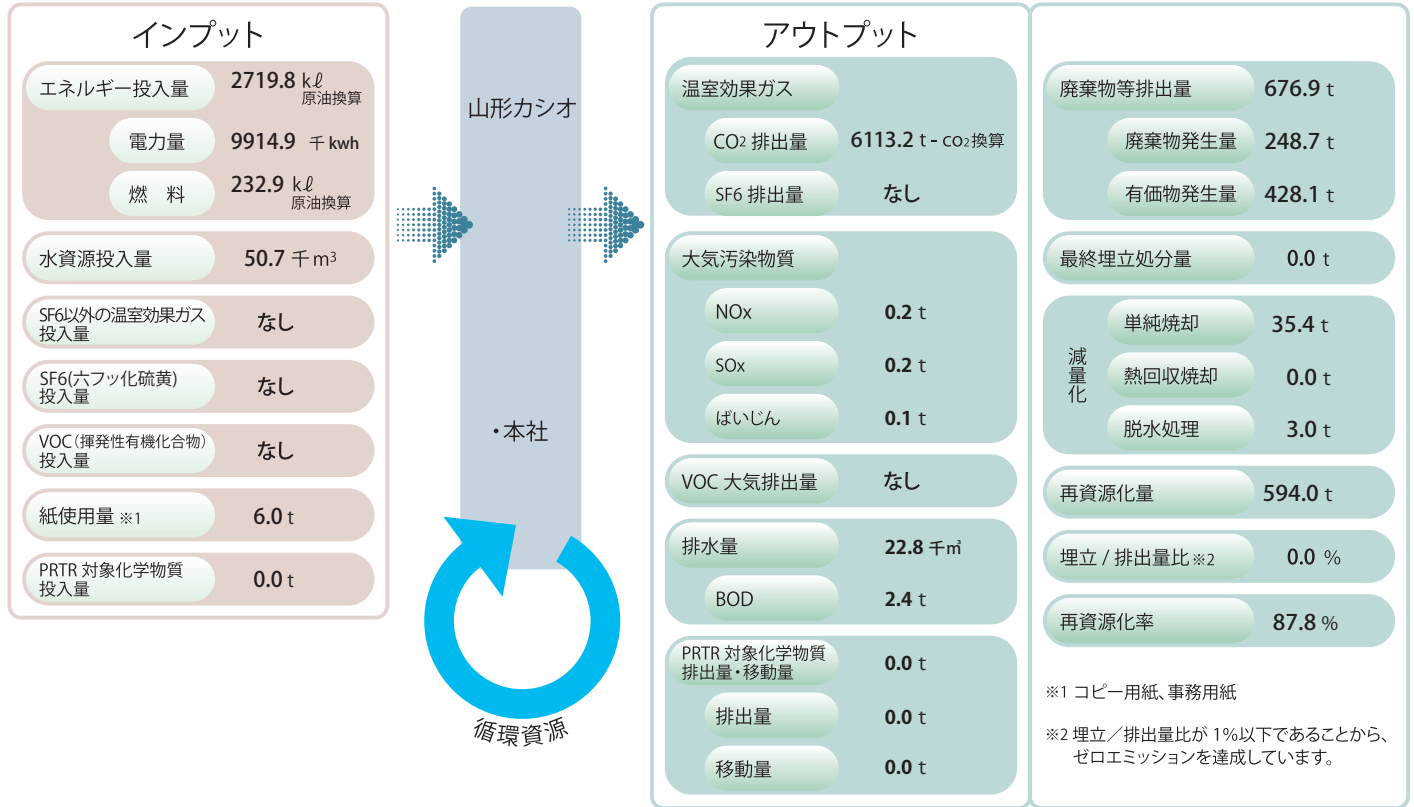
水資源保護：水資源使用量と原単位の推移



2015年度の水資源使用量は、増産により13%増加しました。

水資源原単位(Km³/人)=水資源使用量(Km³)÷従業員数と定義しました。

2015年度のマテリアルバランス

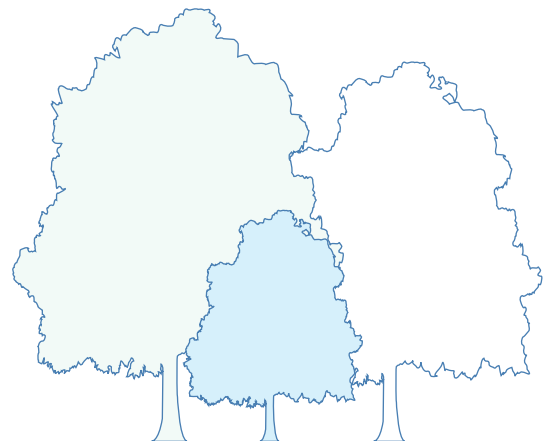
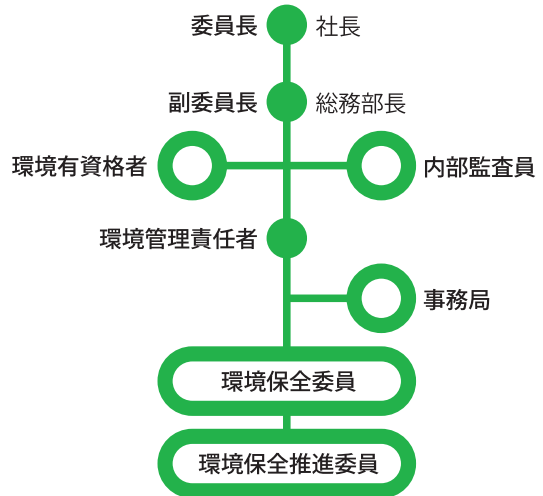


環境活動経緯

- 1996. 4 ● 環境活動開始
- 1997. 11 ● ISO14001認証取得
 - 埋立廃棄物の削減
 - 廃プラスチックのリサイクル開始
 - 省エネルギーの推進
 - 省資源化の推進
- 2000. 7 ● 廃プラスチック類リサイクル化完了
- 2001. 3 ● プリント基板有機溶剤洗浄槽の廃止
- 11 ● 焼却炉の廃止
- 2002. ● 埋立廃棄量削減
(1998年度205t→2002年度12t)
- 2003. 5 ● 圧縮機導入(廃プラスチック減容化)
- 6 ● ゼロエミッション達成
 - コージェネレーション設備本格稼動
- 2004. 6 ● さくらんぼマラソン大会協賛開始
- 2005. 6 ● 山形県知事賞受賞(環境保全推進賞)
- 11 ● 日経ものづくり大賞受賞
- 11 ● 東根市環境週間イベント参加開始
- 12 ● TPM特別賞受賞
- 12 ● バイオ処理開始(有機汚泥排出量の削減)
- 2006. 7 ● 環境サイトレポート発行開始
- 8 ● 氷蓄熱機能付きヒートポンプエアコン導入
 - 初期照度補償機能付きインバーター蛍光灯 & HF管導入
- 10 ● コージェネレーション廃止
- 2007. 1 ● あかり安心サービス導入
- 2 ● 省エネ委員会設置
- 4 ● エネルギー管理システム機能アップ
- 5 ● 高効率変圧器段階的導入開始
 - 氷蓄熱機能付きヒートポンプエアコン増設
- 10 ● ものづくり日本大賞 優秀賞受賞
- 2008. 3 ● ヒートポンプエアコン導入 & 空調の細分化
- 2009. 3 ● 高効率変圧器への更新完了
- 2010. 5 ● 食堂空調のヒートポンプエアコンへの更新
- 2011. 3 ● 社有車ハイブリッドカーの導入拡大
- 2014. 8 ● 平成25年度冬の省エネ県民運動 優良事業所表彰

環境保全推進体制 (ISO14001 マネジメントシステム)

当社全体の環境保全活動を推進する体制で「主要環境行動目標・結果」「社会への貢献」「外部コミュニケーション」をテーマに活動。



さくらんぼマラソン

毎年6月に開催の「さくらんぼマラソン」に協賛しています。カシオ計算機(株)グループの方々からも、多数の参加協力を頂き、大会への参加はもちろん、大会当日の給水所の協力などで間接的にも協力し、地域社会への貢献にも尽力いたしております。



会社近隣の清掃活動

当社、敷地内の除草、清掃はもちろん、所在している「東根・大森工業団地」内、工場周辺の除草、清掃活動を行っております。



中学生の体験学習・環境教育

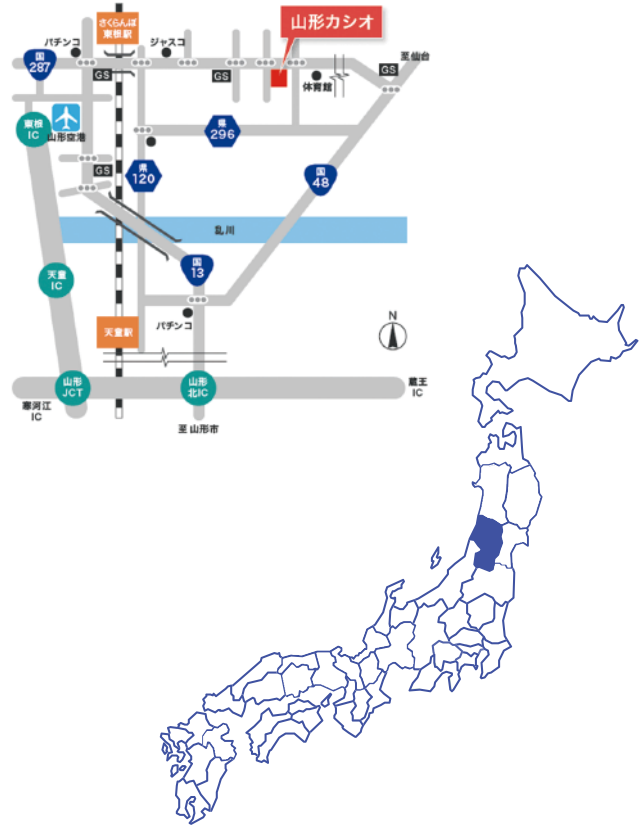
近隣の中学生向けに夏休みを利用して実施されている「職場体験学習」の機会を通して、当社環境活動の紹介や家庭の省エネなどの学習教育により、地域社会への貢献を図っています。



2016年4月1日現在



- 社名 ● 山形カシオ株式会社
- 代表者 ● 代表取締役社長 佐藤 清志
- URL ● <http://www.yamagata-casio.co.jp>
- 所在地 ● 本社 山形県東根市大字東根甲5400番地の1
山梨事業所 山梨県笛吹市一宮町東原911-3
- 売上高 ● 365億円
- 資本金 ● 15億円
- 従業員数 ● 659名
- 事業構成 ● 時計、デジタルカメラ、プロジェクター、
金型設計・製造、成形品



 この報告書に関するご意見・お問い合わせは下記まで

山形カシオ株式会社 総務部・総務課

〒999-3701

山形県東根市大字東根甲5400-1

TEL:0237-43-5111 FAX:0237-43-2577

E-mail: matsudak-yam@casio.co.jp

〔環境サイトレポート対象期間〕2015年4月～2016年3月
〔対象範囲〕本社 〔発行日〕2016年8月